

(別記様式第 1 号)

計画作成年度	令和元年度
計画主体	鹿 嶋 市

鹿嶋市鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 鹿嶋市経済振興部農林水産課
所在地 茨城県鹿嶋市平井 1 1 8 7 - 1
電話番号 0 2 9 9 - 8 2 - 2 9 1 1
F A X 番号 0 2 9 9 - 8 4 - 1 2 1 3
メールアドレス nourin1@city.ibaraki-kashima.lg.jp

1. 対象鳥獣の種類，被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	イノシシ，カラス類（ハシボソ・ハシブト），ハクビシン，アライグマ
計画期間	令和2年度～令和4年度
対象地域	鹿嶋市全域（特別保護地区を除く）

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

（1）被害の現状（平成30年度）

鳥獣の種類	被害の現状		
	品目	被害数値	
イノシシ	甘藷	[2.1ha]	99万円
	水稻	[0.2ha]	1万円
	計	[2.3ha]	100万円
カラス類（ハシボソ・ハシブト）	—	—	—
ハクビシン	—	—	—
アライグマ	—	—	—

（2）被害の傾向

<p>【イノシシ】 主な被害は甘藷の食害，水田の畦畔の掘り返し，水田への侵入。 市内西側（北浦側）の地域では，イノシシの目撃・被害が集中。 谷津田の周辺や田畑の後背地が手つかずの山林になっており，イノシシが生息・出没しやすい環境にある。</p> <p>【カラス類（ハシボソ・ハシブト）】 市全域に生息し，景観の悪化や生活環境への影響や，今後，農作物への食害やビニールハウスへの被害が懸念される。</p> <p>【ハクビシン】 市内全域に生息し，主に家庭菜園に食害が出ている。また，民家の屋根裏や縁の下に侵入するなど，住民生活へも影響を及ぼしている。今後，農作物被害が懸念される。</p> <p>【アライグマ】 市内全域に生息し，主に家庭菜園に食害が出ている。また，繁殖力が高く，寄生虫や病原菌を有していることから，公衆衛生への影響や，農作物被害が懸念される。</p>

（3）被害の軽減目標

指標	現状値（平成30年度）		目標値（令和2年度）	
イノシシ	[2.3ha]	100万円	[1.8ha]	80万円
カラス類 （ハシボソ・ハシブト）	—		—	
ハクビシン	—		—	
アライグマ	—		—	

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	<p>【イノシシ】 茨城県猟友会鹿嶋支部の協力による箱罠・くくり罠の設置</p> <p>【カラス類（ハシボソ・ハシブト）】 茨城県猟友会鹿嶋支部に年2回銃器による駆除を委託</p> <p>【ハクビシン】 箱罠による捕獲</p> <p>【アライグマ】 箱罠による捕獲</p>	<p>【イノシシ】 捕獲数は増加しているものの、それ以上に生息区域や個体数が増加しており、今後も生息域の流動・拡大が想定される。</p> <p>人員・捕獲資材等の確保</p> <p>【カラス類（ハシボソ・ハシブト）】 毎年捕獲しているものの、市内全域に生息しており、今後の被害が想定される。</p> <p>【ハクビシン・アライグマ】 市内全域に生息しており、今後の被害が想定される。</p>
防護柵の設置等に関する取組	<p>【イノシシ・ハクビシン・アライグマ】 該当なし</p> <p>【カラス類（ハシボソ・ハシブト）】 個人による防護ネットの設置</p>	<p>【イノシシ】 農業者に対して、電気柵設置等研修会を実施する必要がある。</p> <p>【カラス類（ハシボソ・ハシブト）】 地域全体での対策を検討する必要がある。</p> <p>【ハクビシン・アライグマ】 国等の補助事業を活用する等の対策を検討する必要がある。</p>

(5) 今後の取組方針

- ・令和元年10月に鹿嶋市鳥獣被害防止対策協議会、年度内に同鳥獣被害対策実施隊を設置し、有害鳥獣の農作物被害の対策を推進する。
- ・地域住民及び農業耕作者を対象に、鳥獣対策研修会を開催する。
- ・近づけない対策として、電気柵等設置のための補助制度を設置する。
- ・罠免許取得者に対する補助制度を設置し、罠設置資格者の増員を図る。
- ・有害鳥獣の農作物被害の低減化を図るため、国や県からの交付金等を積極的に活用していく。

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

猟友会鹿嶋支部会員、一般市民（農業者）、市職員により構成された実施隊により捕獲を実施する。

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
令和2年度 ～ 令和4年度	イノシシ カラス類 (ハシボソ・ハシブト) ハクビシン アライグマ	・箱罠・くくり罠の増設 ・狩猟免許取得の推進

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方
その年度毎の被害状況や捕獲実績等をもとに適切な捕獲計画等の設定をし、加害個体を捕獲していく。 特にイノシシの捕獲については、捕獲の実績数や農作物の被害が増加しており、個体数の増加が想定されるため、地域を特定し、集中的に取り組んでいく。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
イノシシ	20頭	20頭	20頭
カラス類 (ハシボソ・ハシブト)	200羽	200羽	200羽
ハクビシン	5頭	5頭	5頭
アライグマ	2頭	2頭	2頭

捕獲等の取組内容
<p>【イノシシ】 (捕獲手段) 箱罠・くくり罠による捕獲 (実施時期) 通年 (場所) 鹿嶋市西部(北浦側)台地の森林及び谷津田部</p> <p>【カラス類 (ハシボソ・ハシブト)】 (捕獲手段) 銃器による捕獲 (実施時期) 通年 (場所) 鹿嶋市内全域</p> <p>【ハクビシン】 (捕獲手段) 箱罠による捕獲 (実施時期) 通年 (場所) 鹿嶋市内全域</p> <p>【アライグマ】 (捕獲手段) 箱罠による捕獲 (実施時期) 通年 (場所) 鹿嶋市内全域</p>

ライフル銃による捕獲等を実施する必要性及びその取組内容
農作物被害防止のためのイノシシの捕獲はわな、ライフル銃以外の銃を基本とするが、これらの方法での捕獲が困難な個体については、射程が長く捕獲能力の高いライフル銃を使用する。

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
鹿嶋市全域	茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例により権限移譲済み

4. 侵入防止柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

年度	対象鳥獣	整備内容
令和2年度 ～ 令和4年度	イノシシ	被害を防止するための侵入防止柵の設置をしていく。

(2) その他被害防止に関する取組

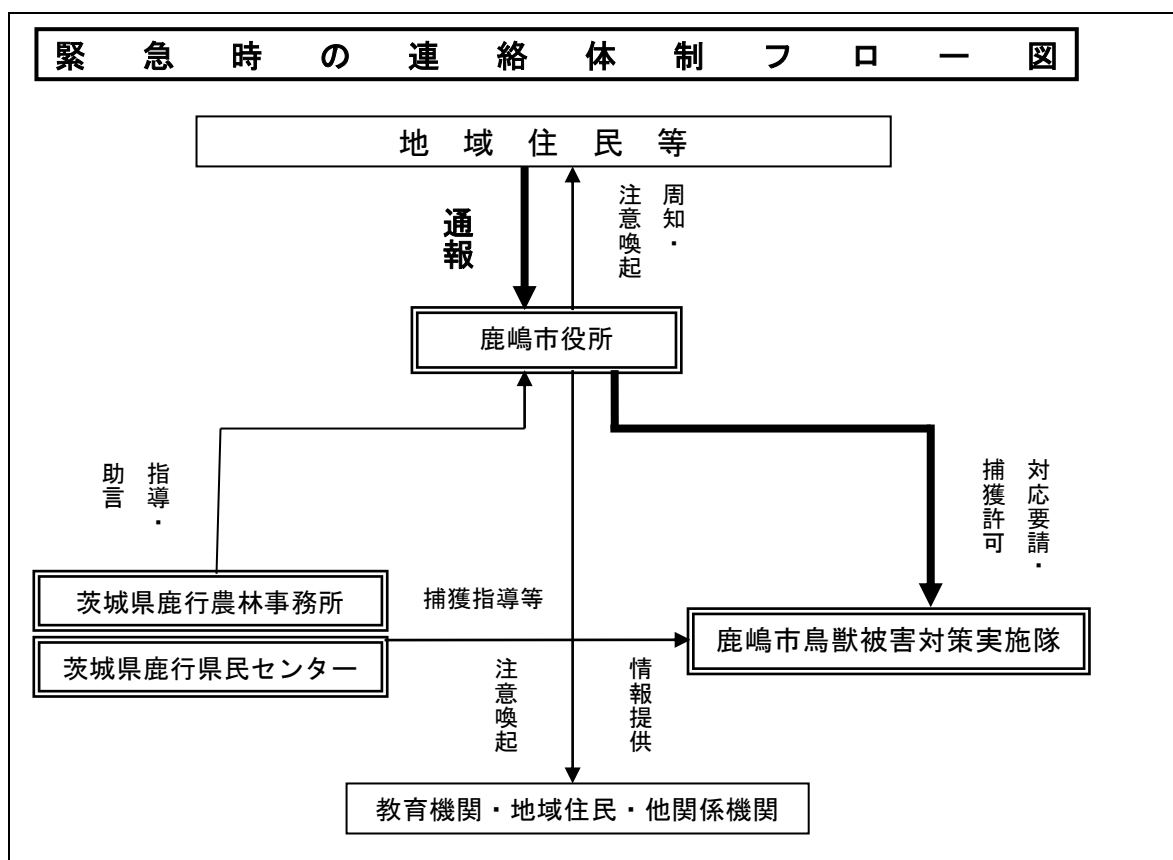
年度	対象鳥獣	取組内容
令和2年度 ～ 令和4年度	イノシシ カラス類(ハシボソ・ハシブト) ハクビシン アライグマ	田畑周辺の下草刈りなどによる緩衝帯の設置(環境整備)も被害防止対策の一つであることから、地域と連携して取組みを検討していく。 作物残渣を撤去、または土中深くまで埋設。あるいは、ネットで囲むなど適切な処理を行い、有害鳥獣を誘引させない。 広報紙・FM放送など、被害防止対策に関する住民への周知・情報提供。

5. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称	役割
鹿嶋市経済振興部(農林水産課)	・狩猟団体への手配要請 ・各機関との連絡調整
鹿嶋市政策企画部	・FMかしま、広報紙による情報提供
鹿嶋市市民生活部	・地域住民等への情報提供(地区回覧、防災無線の操作等) ・捕獲の許可
鹿嶋市教育委員会	・学校等への情報提供
茨城県猟友会鹿嶋支部	・現場の巡回、捕獲活動
茨城県鹿行農林事務所 振興・環境室農業振興課	・指導・助言
茨城県鹿行県民センター 環境・保安課	・指導・助言

(2) 緊急時の連絡体制



6. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

関係法令に従い、焼却処分又は埋設処分とする。

7. 捕獲等をした対象鳥獣の食品としての利用等その他有効な利用に関する事項

現在、イノシシ肉は出荷制限されているため、食品としての利用は行っていないが、今後、近隣市町村の状況を踏まえて検討していく。

8. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	鹿嶋市鳥獣被害防止対策協議会
構成機関の名称	役割
茨城県猟友会鹿嶋支部	捕獲実施，捕獲指導・助言
鳥獣保護管理員	鳥獣の保護及び管理に関する助言
JA なめがたしおさい	農林作物被害に関する情報提供等
茨城県鹿行農林事務所	防除対策の指導・助言
茨城県鹿行県民センター	鳥獣の保護及び管理に関する助言等
鹿嶋市	有害鳥獣に関すること 事務総括

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役割
鹿行地区鳥獣被害対策協議会	鹿行管内における、目撃・被害状況等の情報提供

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

年度内に実施隊の設置規則及び報酬等を定め、令和2年4月に任命して実施隊を設置する。

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

特になし

9. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

特になし